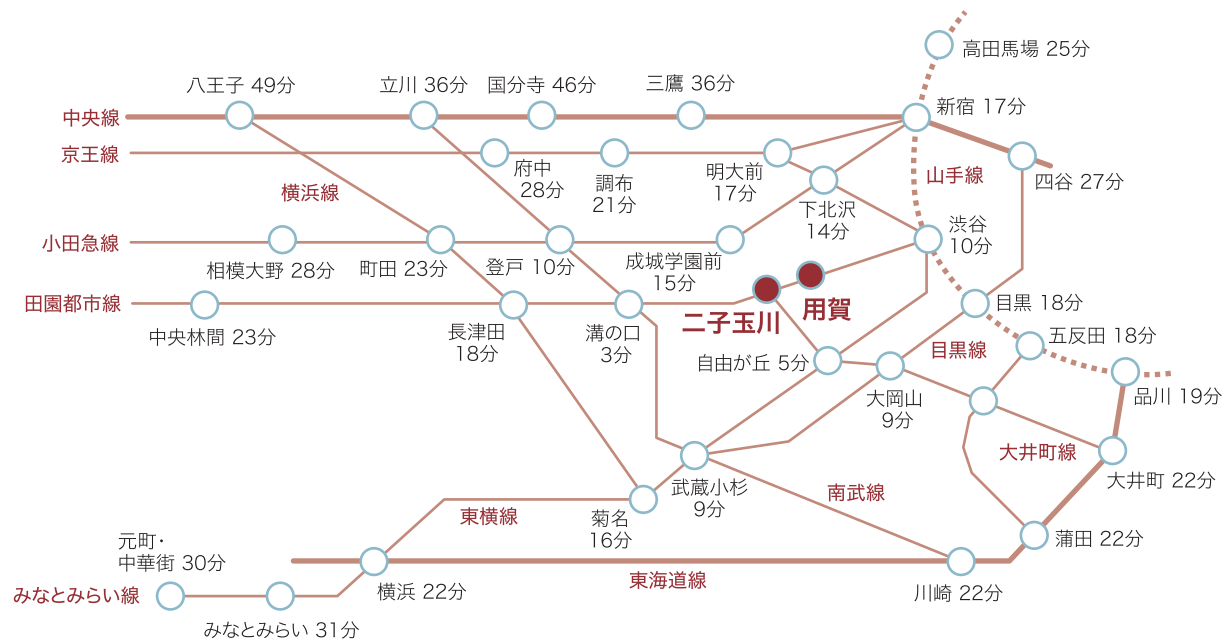


アクセス 主要駅からの通学時間目安(乗車時間のみ)



二子玉川駅・用賀駅からの本校へのアクセス

- 電車** 田園都市線・大井町線「二子玉川駅」より徒歩20分
田園都市線「用賀駅」より徒歩15分
- 路線バス** 二子玉川駅～玉川病院・成育医療研究センター行き(玉31) 美術館行き(休日のみ)(玉32)
「岡本もみじが丘(聖ドミニコ学園入口)」下車2分
- タクシー** 二子玉川駅前より約5分

Quest for Truth

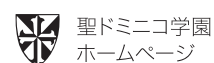
- 真理の探究 -

[聖ドミニコ学園のモットー]

聖ドミニコ学園中学高等学校

〒157-0076 東京都世田谷区岡本1-10-1 TEL 03-3700-0017 FAX 03-5716-4646 メールアドレス c-nyusi2@dominic.ed.jp

聖ドミニコ学園
<https://www.dominic.ed.jp/>



聖ドミニコ学園
ホームページ



聖ドミニコ学園
facebook



St. Dominic's

Junior and Senior High School

School Guide

聖ドミニコ学園中学高等学校

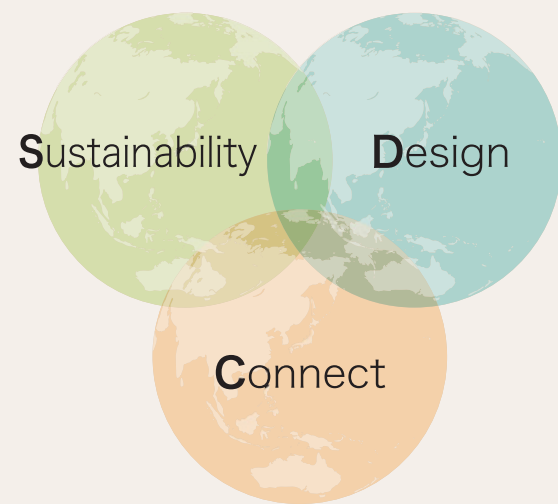
真理を求め、自由に生きる。

本学園の名前の由来となった聖人ドミニコは、12世紀のヨーロッパに生きた人でした。国や宗派を超えて、人々との対話を重んじたドミニコの生き方は、多くの人々の心を動かし、やがて彼が結成したドミニコ会は、世界中に広がっていきました。そして、時は流れて21世紀。世の中の仕組みが急速に変わりつつある現代も、本当に大切なものは、決して変わることはありません。かつてドミニコが人々の心に灯した愛という真理の光は、学園で学ぶすべての子どもたちの心にも、今なお確かに灯されています。この学園で学んだ一人ひとりの真理の光が、あらゆる壁を越えて自由に羽ばたき、この世界をあたたかく包み込みますように。その願いを胸に、私たちは生徒たちと歩み続けています。

SDC (6年間の学びを通して得られる力)

St. Dominic's Core Concepts

本校の教育の土台は、「**Sustainability (持続可能性)・Design (デザイン力)・Connect (つながる)**」。
本校のあらゆる科目や行事が、この3つの核となる概念(コア・コンセプト)をもとに作られています。



愛と誠をもって社会に貢献する人に

Sustainability (持続可能性)

長期的な視野に立ったものの見方

Design (デザイン力)

ひらめきや思考を表現できる

Connect (つながる)

受容力・対話力・語学力



カリキュラムマネージャー
21世紀型教育機構理事
石川 一郎

「何故学ぶのか」

学びのスタンスは、「勉強」ではなく「学問」であって欲しい。「勉強」とは「勉めて強いる」こと。人から強制されてすることです。「学問」とは「学び問う」こと。自ら何かを「学び」そして「問う」ことです。

学校生活で様々なことを学び「生きていく上で何に役に立つのだろう」「社会とどうつながっているのだろう」「本当にそうなのだろうか」といった「問い」をモヤモヤしながら自分自身で、そして仲間や先生と考えることはとても大切なことだと思います。

地球を次の世代につなげていくという強い「思い」を持つとともに、自分が「何」で貢献できるかを本校の「学び」の中から探して欲しいと思います。

本校は21世紀型教育機構メンバー校となりました 21世紀型教育へバージョンアップ!

インターナショナルコース [詳しくは >>> P3](#) へ

英語・数学・理科の授業はすべて英語イマージョン

アカデミックコース [詳しくは >>> P3](#) へ

思考力・創造力を培う対話的な学び

本校のイマージョン授業はCLIL(内容言語統合型学習)の原理に基づき設計されています。これはヨーロッパで普及している国際基準の教育法で、教科力、英語力、思考力、協働力を有機的に組み合わせて21世紀型の汎用能力を育成するものです。その指導効果を高めるための研修や助言に協力いたします。



CLIL教育アドバイザー
上智大学教授
池田 真

聖ドミニコ学園の新教育を象徴するキーワードはこの4つ!

英仏2ヶ国語教育 [詳しくは >>> P5](#) へ

これからの時代は英語だけでなく、多言語を武器にしていく時代。創立当初から続く伝統の外国語2ヶ国語(英語・仏語)教育で言語の壁を越えていく。



ICT教育 [詳しくは >>> P7](#) へ

私たちが持つ限りない想像力を、未来を創造する力へ変えよう。あふれる情報とつながり、自由にデザインするツールを手にして。



PBL (課題解決型学習) [詳しくは >>> P9](#) へ

世界は、答えのない問いばかり。正解のない課題について自ら考え、仲間たちと意見を交換しあいながら考えをまとめていく。そのプロセスが、生きる力になる。



ドミニコ学 [詳しくは >>> P10](#) へ

身近なところから、徐々に世界へ広がっていく世界観。持続可能な社会を実現するために、私たちには何ができるのだろう。



コース制 真のグローバル教育で 21世紀を生きぬく力を

インターナショナルコース

I am an international educator who has taught for more than 35 years in the United States, Africa and Asia. I firmly believe in student-led education which emphasizes creativity over memorization of facts. At the International Course of St.Dominic's, our English education team is ready to give outstanding classes in English. Our classes will challenge students to think differently, ask questions and take some ownership of their learning. Expect our students to come home excited about speaking and using English!

私は世界中で35年間インターナショナル・エデュケーターとして教えてきました。単に暗記するよりも、生徒が主体となって創造力を発揮することができる教育を。われわれ聖ドミニコ学園の教員チームが、素晴らしい授業を行うべく、インターナショナルコースの授業を準備してきました。このコースでは生徒たちが異なる視点で考えること、積極的に質問すること、主体的に学ぶことが求められています。家に帰った生徒たちが、英語に触れた感動を話してくれるのを期待してください!

Philip Arthur Willis International Course Director



アカデミックコース

聖ドミニコは『対話』の人でした。どんなに強い力で人の心を動かそうとしても、そこから主体性や気づきは生まれません。彼は対話を通じて、相手が自ら考え決断することを促しました。本校は聖ドミニコに倣い、対話をしながら生徒に寄り添い、時間をかけて生徒たちの主体性を育むことを大切にしてきました。そして今、その『対話的な学び』が世の中で見直されてきています。不易流行。変わらない良さと革新の両立。本校は2019年度より新しい学びのスタイルを採用しました。これまでの対話姿勢・丁寧な指導による堅実な学びはそのままに、PBL (Project Based Learning) のスタイルを授業に組み込むことで、生徒たちが対話を重ね、協働して課題解決に積極的に取り組む機会を増やします。予測不可能な未知の世界で、正解のない問いに対する答えを見つける「知力」を身につけてほしい、それが私たちの願いです。アカデミックコースの英語は日本人教員が担当し、英会話をネイティブスピーカー教員が担当します。日本人教員による英語授業の良さは、日本人ならではの疑問やミスに対してきめ細やかで効率よい指導を行えることです。スピーチやプレゼンテーションなどの活動を効果的に採り入れ、4技能(聞く・読む・話す・書く)をバランスよく伸ばしていきます。

上地 麗 宗教科 教諭



英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ。
新時代に必要となる英語4技能・思考力・
コミュニケーション力・プレゼン力を身につけます。

授業の特徴は？

週14時間*1 英語に浸る!

英語、数学、理科を「英語で」学びます。ネイティブスピーカー教員が主導。論理的かつクリティカルな思考が鍛えられます。目指すCEFR*2のC1レベルまで英語力を引き上げるには「英語を」ではなく「英語で」学ぶ環境が最適です。

*1 中学校3年間の週あたりの英語イマージョン授業
*2 語学力のレベルを示す国際標準規格



目指す英語力は？

英語で学び、英語で考え、 英語で表現する

目指すのはCEFR“C1Level”(英検1級レベル)です。英語を英語で学ぶことは、英語で論理的に考えるトレーニングにもなります。自分の専門分野以外の話題にも英語で対応できる思考力と表現力を身につけます。



目指す進路は？

語学力は アドバンテージ!

語学力を活かして、国内難関大学や海外大学上位校を視野に、グローバルな進路を目指します。海外大学推薦制度も充実しており、真の国際人になる夢をサポートします。



PBLベースで 自立的に学ぶ!

個々に応じた丁寧な指導により基礎学力を身につけ、Project Based Learning (課題解決型学習)で、協働、共有、発信のトレーニングを積み重ねます。自ら考え、対話し、気づきを得ることが深い学びを可能にします。



自信をもって 英語を使いこなす

CEFR“B2Level”(英検準1級レベル)を目指します。日本人教員による丁寧な指導のもと、クラスメイトと協働して課題に向き合います。またスピーチやプレゼンテーション活動を効果的に取り入れて、世界を見据えたコミュニケーション力を磨きます。



自分らしい進路を 突き詰める!

国内難関大学はもちろん、芸術・体育・医療看護系など、能力・個性を生かした進路を目指します。海外大学の推薦制度もあり、様々な進学の夢を叶えることができます。



英仏2ヶ国語教育と海外への留学・進学

英語教育

「聞く・読む・話す・書く」の4技能をバランスよく学習します。英語学習の基本であるフォニックスで正しい発音を学び、授業で学んだ内容をスピーチやレシテーションでアウトプットしながらプレゼンテーション力を養います。授業の取り組みとしては、生徒たちが英語に興味を持ち楽しく学習できるよう、iPadを用いて工夫を凝らした授業を

行っています。また、中学高校すべての学年に、ネイティブスピーカー教員による英会話の授業があります。英語の授業でインプットした知識や表現を英会話でアウトプットすることで英語でコミュニケーションをとることの楽しさや喜びを感じることができるようになります。このように様々な学習のアプローチと積み重ねを経て英語を習得することで、コミュニケーション力はもちろん、大学受験にも対応できる本物の英語力が養われます。



仏語教育

フランス語は、公用語として現在約30の国で使われており、およそ2億2千万人に話されている言語です。フランス語の授業は、中学3年間・週2時間必修です。中学1・2年では本校独自のテキストを使用し、初めてフランス語に触れる人にも学習しやすいように工夫しています。特に、フランス語特有の発音を音とリズムで覚えること

で、自然に身につけることができます。1年間学んだのち、仏語検定やDELF※にチャレンジする生徒もいます。高校での授業は選択制となり、高校2年からはフランス語を第一外国語として学習することもできます。総合的な力を養うために、少人数制を活かしたネイティブの教員との授業や、受験対策講座も行っています。その結果、例年、フランス語の力を活かして大学に進学する生徒がいます。(※DELF…フランス国民教育省が認定している公式フランス語資格。問題もすべてフランス語で出題されます。)



本校教員手作りのテキストです



留学

■ニュージーランド中期留学 (中学3年)

中学3年の3学期に留学するプログラムです。ホームステイをしながら、最初の1週間は現地語学学校で英語研修を受け、その後それぞれの学校へ通学します。



■オーストラリア2週間プログラム (中学2年～高校2年)

日本青少年海外研修研究会が企画する研修です。現地コーディネーターと引率の日本人リーダー(教員または教員経験者)が必ずつく安心なプログラムです。



■コリブリ【フランス交換留学】 (高校1年～2年)

コリブリとは日仏高等学校ネットワークのことで、日本とフランスの交換留学希望生徒の相互受入による留学制度です。

留学生報告会



本校では毎年「留学生報告会」を開催し、海外から戻ってきた生徒が在校生の前で自身の経験を発表する機会を設けています。発表者は、留学の目的や、現地での経験、学んだことなどについて話し、その貴重な経験を振り返ることができます。また、在校生はプレゼンテーションを聞くことで、海外での学びや生活、多様な価値観との出会いに関心を持ち、海外留学への意識を高めていきます。

海外大学への進学について

① 国際大学連合 (I.F.U) に加盟

(International Federation of Universities) アイルランド・英国への指定校推薦(学科選考あり)。FOUNDATION・コースを経て、学部に進学する制度です。

② 海外大学進学協定校推薦入試制度 (UPAS)

アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアの提携大学(70校)への進学が可能な制度です。協定校の中には、規定を満たせば返済不要の奨学金を受給できる大学も多数あります。

その他、個人で海外大学へ留学をする生徒もいます

過去に卒業生が進学した海外大学:

- ロンドン大学(英国)
- メルボルン大学(豪州) など

世界で活躍している卒業生紹介

私はイギリスの大学・大学院で農村開発を、国連平和大学大学院では環境安全保障を学び、現在はインド・ネパールでの村落開発や、ミャンマーとバングラデシュでの難民支援に携わっています。世界の困窮している人びとに貢献する人道支援の道に進んだのは、ドミニコでの学びや生活を通して自然と身についた、奉仕の精神の賜物だと考えています。また、高校時代に1年間ニュージーランドに留学し、その後ドミニコからのIFU第1号としてイギリスの大学へ進学できたのも、海外大学への進学を視野に入れた進路を先生方に後押ししていただいたからです。今後も、社会に貢献できる国際人が後輩の皆さんの中から出てくることを楽しみにしています。



国連世界食糧計画(国連WFP)バングラデシュ事務所プログラム政策担当 本川南海子さん

ICT教育 すべての教室にプロジェクターを完備

創造性

協働学習

自主学習

本校の生徒は、全員が iPad + ApplePencil + Smart Keyboardを授業で利用します。紙の上だけでは難しい+αを追求すると同時に、MetaMoJi ClassRoomを導入し、教師と生徒のより生き生きとした双方向授業を実現しました。授業支援ツールとして優れ、OneDriveやDropboxなどのクラウドとも連携しやすいのがメリットです。

iPadをスムーズに使いこなすのに不可欠なApplePencilは、生徒たちの直感的なアイデアをダイレクトに表現し、イメージを簡単に共有することを可能にします。早い段階からSmart Keyboardを利用してタイピングに慣れることで、様々な英語資格試験で行われているIBT (Internet Based Testing)においても、さらに社会に出てからも、そのスキルが活かされます。

また、いつでもどこでも、生徒たちは隙間時間を利用して課題を確認、提出できたり、学習に役立つアプリを利用して自主的に学習に取り組んだりすることができます。そして教員も、生徒一人ひとりの課題や宿題の記録にアクセスすることが容易になり、生徒に合わせたフィードバックを的確に行うことができるようになりました。iPadによってこれまでよりも一層、生徒たちは世界とつながり、アイデアを共有して学びを深め、より良いものを求める姿勢が生まれています。



英語

言語活動には音声が必要ですが、iPadで配布する教材は音声を簡単に再生できます。授業でのアクティビティが活発に行えることに加え、教材を使用した自主学習にも役立っています。またMetaMoJiを使用することで教員がより詳細に生徒の学習状況を把握できるようになりました。



理科

実験レポート作成、実験過程や結果の撮影などに積極的に活用しています。iPad上で実験結果を班員と共有したり、注意点をわかりやすく確認したりなど、生徒と先生、それぞれ双方向のやりとりを行なっています。実験結果や理科用語そのものをプレゼンテーションすることで、表現力や伝える力の向上にも役立ちます。



主体的・対話的で深い学びを実現 ひとり1台のiPadで広がる学習

社会

修学旅行事前学習では沖縄の自然・文化・歴史に関する調べ学習・発表を行います。グループで話し合いながら、iPadを活用してプレゼンテーションを行います。それぞれが工夫を凝らした発表をする中で、平和とは何かという大切な問いに深く向き合うことができます。



数学

グラフや立体的な図形を大きく投影するだけでなく、iPad上で実際に「触れる、動かす」体験をすることで、苦手意識を持つ生徒も「なぜ？」の視点を持っきっかけとなり、深い理解に繋がります。オンライン教材でのフォローアップも万全です。



国語

国語の授業では、MetaMoJiを活用しています。俳句や短歌について調べたことを、iPadで作成したポスターと共に発表したり、漢字練習アプリで楽しく漢字の書き取り練習を行ったりしています。試験前には復習のための教材にアクセスすることで、解き直しも容易です。



オンライン教材の活用

授業中の課題としてだけでなく宿題や補習など、自立学習支援の一環としてリクルート社のスタディサプリを活用しています。



自ら考え、発信する力 PBL授業

本校では、すべての授業でPBLを行います

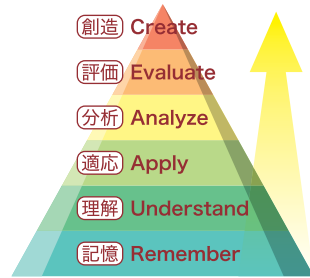
PBL授業 (Project Based Learning) 課題解決型学習

PBLは「解決する力」を伸ばす学びだと考えています。生徒たちが社会に出た時、答えのない問題にたくさん向き合うことになるでしょう。その時に、自分で解決方法を考え、時には仲間と意見を交わし、より良い答えを出さなくてはなりません。「自ら考える力」や「意見を伝える力」、「意見を聞く力」という課題解決のために必ず必要となる力をより伸ばせるように、授業だけでなく、さまざまな学校行事でもPBLを取り入れています。



河野 司 理科 教諭

■より高次のレベルの思考をめざします



プロジェクト例①

ダンスコンクール

ダンスコンクールでは、クラスで一つのテーマを決めて、みんなでダンスを創作します。より良いものを目指し、自分の意見をみんなに伝える必要もあります。時には衝突してしまうこともありますがそのような時も自分達で話し合い解決していきます。その経験を通じて「自分で考える力」だけでなく「自分の意見を相手に伝える力」が身についたと思います。



プロジェクト例②

中1国語 竹取物語

最初は昔の言葉で竹取物語の劇をやると聞いて、こんなに難しい言葉で出来るのだろうかと思いましたが、練習を重ねるとすらすら読めるようになり、本番でも間違えずにセリフを言うことができました。また、練習を通して様々な情景が浮かんで来て、イメージを皆で共有しながら作り上げていくことが、とても楽しかったです。



プロジェクト例③

高1日本史 修学旅行の沖縄事前学習

長い時間をかけ沖縄について主体的に学習したことで、修学旅行で訪れた際に戦争の歴史についてより現実味を帯びた話として聞くことができました。自分で考え、学んだことを意見交換できる環境で学習したからこそ、このような貴重な経験ができたのだと思います。



ドミニコ学

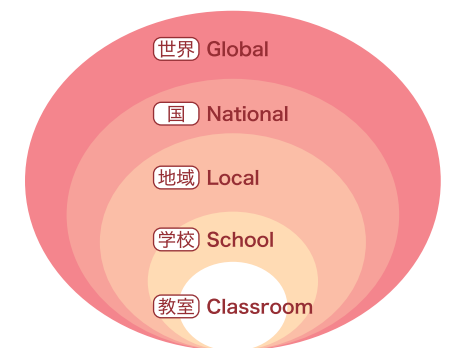
かかわりの中で学ぶ『ドミニコ学』

ドミニコ学は、聖ドミニコ学園独自の探究プログラムの時間です。中学1年生から高校2年生まで、学年ごとに設定された探究内容について、情報収集・分析・発表の仕方を身につけていきます。教師はあくまでもアドバイザー役で、主役は生徒たちです。思考を整理するためのシンキングツールを用いながら、生徒自らが様々な方法を試し、実行し、互いに共有し、表現するというサイクルを繰り返すことで、卒業後の生き方に役立つスキルを習得していきます。



ドミニコ学は、チームでさまざまな課題に取り組みます。

■ドミニコ学の学び



成長と共に広がっていく視点

■ドミニコ学 学年テーマ(例)

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年
<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 & 他己紹介をしよう 聖ドミニコの生涯を調べ、今を生きる私たちとの関わりを調べよう 	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の歩き方マップを作ろう 歩き方マップから見えてきたことを調べよう 	<ul style="list-style-type: none"> 京都修学旅行について中学2年生に向けて発表をしよう 職業について調べ、将来のことを考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs × ドミニコ学 SDGsについて調べ、ドキュメンタリーニュース番組を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs × ドミニコ学 グループごとの発表と、研究紀要の作成

高学年では、国連が提唱するSDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な世界を作るための17の目標)を中心に進めています。

探究活動のプロセスで得たスキルは、卒業後の人生でも役立つものとなります。

子どもたちは学校を卒業すると、一人ひとりが置かれた場所で考え、調べ、行動していかなければなりません。同じ時代を生きる仲間たちとともに、この世界を持続可能なものとするために語り合い、自分にはいったい何かできるのかと自らに問い続けることは、その後の人生の指針となるはずです。

卒業生の声 *Our Second Home, St. Dominic's!*

卒業生より



私はこの学園で12年間を過ごしました。ドミニコ学園の良いところは、受容性の高さだと思います。たとえ互いの意見が食い違っても話し合っ解決したり、新たな視点として分かり合う努力をすることを、この学園で教えてもらいました。小規模な分、先生方が一人ひとりを手厚く見てくださいますし、何より、辛い時に支え合っ励まし合える仲間ができました。今年は先の見えない中での受験となりましたが、そんな時も温かいドミニコの友人や先生方が支えてくださったおかげで最大限の力を発揮できたと思います。

2020年度 卒業生
大貫 藍さん 上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科



この学園で得たもの、それは人生において大切な糧となるものでした。私は在学中、高校1年時での1年間留学を決意しましたが、留学中のことはもちろん、事前のテストや復学の面で最初は沢山の不安がありました。しかし学園での学びを基に留学のテストに無事合格することができ、留学中も先生が電子メールにて励ましのお言葉をくださりました。また、帰国後は先生方一人ひとりが日本の授業のブランクを埋める手伝いをしてくださいました。学園が私に大切なものを与えてくださり、素晴らしい学びを通して充実した生活を送ることができたことに心から感謝しています。

2020年度 卒業生
稲玉 妃怜さん The University of Melbourne (メルボルン大学)



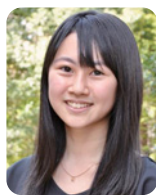
一般的に、ドミニコのような女子校は理系の人材を育てるのに弱いイメージがあると思います。しかし、ドミニコは教師と生徒の距離が近いので、よく見受けられる一方通行の講義と異なり、コミュニケーションを通じて学習していくことができます。この距離の近さが、ドミニコの最も良い点だと私は思っています。受験前日にも電話をして安心させて下さるほど、ドミニコの先生方は親身になって生徒と「共に」受験へ挑んでくださいます。その支えがあったからこそ、理系の私も第一志望の大学に合格することができました。

2019年度 卒業生
渋谷 香芙加さん 慶應義塾大学 環境情報学部



ドミニコ学園の1番良いところは、生徒の数が少ないため、先生方との距離が近いところだと思います。問題を解いていてわからない時は、その教科の先生にすぐに聞きに行くことができるので、受験期は特に、その良さを実感しました。私が受験方法に悩んだ時も、常に話を聞いてくださり、精神面でもとてもお世話になりました。勉強面以外では、バスケットボール部のキャプテンを務め、多くのことを学びました。そこで培った体力や、忍耐力も第一志望の大学に合格できた要因だと思います。受験を通して家族・学校・仲間たちに支えられていることを再確認しました。

2020年度 卒業生
福田 佑月さん 早稲田大学 商学部 商学科



他者との関わりを大切に、優しさや思いやりを持って行動する、キリスト教精神に基づいたこの学園での学びが進路選択の大きなきっかけとなりました。理系科目は選択者が少ないですが、その分一人ひとりのペースに合ったきめ細やかな指導をしてくださいます。また、受験当日に励ましの連絡をくださるなど、先生方の手厚いサポートのおかげで本番の試験にも安心して臨むことができました。受験以外にも、部活動などで困った時は同級生のみならず、先輩や後輩、先生方が支えてくださり、充実した学園生活を送ることができました。

2020年度 卒業生
森 優羽さん 日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科



母がドミニコの卒業生で、学生時代に非常に充実した楽しい学園生活を送ることができたため、娘の私も、幼稚園からドミニコに通わせてくれました。私は理転と文転を経験し、何度も自分の進路を悩みましたが、その度に担任の先生だけではなく、様々な科目の先生が助け、応援して下さいました。勉強のほかにも、水泳部の部活動で身につけた集中力や体力は受験期に大いに役立ちましたし、一緒に受験を乗り切った一生の友達もできました。最後まで自分のやりたいことを思う存分できたのはドミニコにいたからだと思っています。

2019年度 卒業生
岡崎 渚さん 東京外国語大学 国際社会学部 西南ヨーロッパフランス語専攻

聖ドミニコ学園を卒業して

この学園は一人ひとりを大切にしてくださる学校でした。在学中は、先生のご指導のお陰で苦手であった英語を克服し、投げ出さずにやり抜く姿勢や自分の弱い部分にしっかりと向き合うことも教えて頂きました。現在、日々学び続けるこの客室乗務員という仕事に魅力を感じるのも、自分自身と向き合っ最後まで取り組むことをこの学園で学ぶことが出来たからだと感じています。卒業し社会人になった今でも、迷った時に支えになるのは学園での教えます。客室乗務員として国籍を問わず様々なお客様に日本らしさを感じて頂けるサービスを目指しておりますが、英語や仏語・宗教の授業を通して学んだ語学・海外の文化や考え方、先生方やクラスメイトとの関わりから学んだ相手を大切に思いやる気持ちは、お客様に接する際に活きていると感じます。一生の恩師や友に会い、豊かにのびのびと学んだ6年間は今の私をつくった大切な時間です。これからも、学園での学びを大切に活かしながら成長していきたいと思っています。

全日本空輸株式会社
客室乗務員
鈴木 珠子さん



フランスのコートダジュールに近いラ・ゴードという村で古い絵画の展示会を開くため、その絵画を描いた画家の子孫に連絡が取りたいと私のもとにジャパンタイムズから連絡があったのは2016年のことでした。祖父は画家として、今から100年前のエコールパリの時代にフランスに渡った日本人でした。とても嬉しいお知らせに心躍らせながら、その村を訪ねた私を、祖父ゆかりの人々が大変歓迎してくれました。そこで役に立ったのが聖ドミニコ学園で習ったフランス語でした。中学、高校、その後進学した大学でフランス語に触れる機会を持ったことは、まさに私と世界をつなぐ磁石となったのです。今は刺繍の仕事でフランスや英国の刺繍店との貿易をしていますが、800年の歴史あるドミニコ会の学校で学んだと伝えると、ヨーロッパの方たちはすぐに笑顔になり、それが言葉以上の絆となる瞬間があります。学園の教育に、その時ほど感謝することはありません。

モデル
日本デンマーク150周年親善大使
岡田 美里さん



聖ドミニコ学園の目指す女性像

愛と誠をもって社会に貢献する人



聖ドミニコが生きた時代は、異端者に対して武器をとって戦う時代でした。しかし聖ドミニコは、彼らと人格的に向き合い、対話をもって真理を伝えようとしたのです。強い力で無理矢理に考えを変えさせるのではなく、相手の主体性を尊重するのが聖ドミニコの姿勢でした。このように、愛と誠を持って世の光となった聖ドミニコのように社会に貢献することができる女性を育てることを目指しています。

学園生活

聖ドミニコ学園の1日



登校
昇降口には教員が立ち、生徒達と元気に朝の挨拶を交わします。



授業 8:40~
対話を通して、みな生き生きと学んでいます。



放課後学習 16:00~
熱心に質問する生徒の姿が多く見られます。



クラブ 16:00~
仲間とともに青春を謳歌(おうか)しています。



朝礼 8:25~
朝礼は1日の始まりです。規則正しい1日は、聖歌とお祈りから始まります。



昼休み 12:20~13:05
売店では温かいお弁当やデザートの販売も行っています。



聖ドミニコ学園の制服・アイテム



安心のカウンセリング

「カウンセリング」とは、気持ちが少し落ち込んだときに、ちょっと一息つく場所です。「考える事」が「悩み」に変わってしまったり、自分の居場所が無いと感じたら、一人で抱え込まないで、ぜひ訪ねてください。一人で考え込むよりも、一緒に考えた方が納得できる答えが見つかるかもしれません。困ったときにサポートを求められる場所があれば安心できますよね。ゆったりとした時間の中で、一緒に心の声に耳を傾けてみましょう。
カウンセラー 前田 節子



安心の防犯・防災対策

防犯対策

学園入り口には警備員が常駐し、来校者にはIDカードをつけていただきます。学園内には警視庁直通の非常通報装置や防犯カメラを設置しており、生徒たちが安心して毎日を過ごせるよう配慮しています。

防災対策

防災士の資格をもった職員が学園の防災に取り組んでいます。地震などの災害が起こった際に、生徒が安全を意識して自分の身を守るよう防災訓練を行っています。消防署職員から安全教育の指導を受ける機会も設けています。また、「緊急地震速報受信端末」を設置している他、「一斉メールシステム」により通常時・緊急時共に一斉連絡を行います。

※大地震などの際には、保護者が迎えに来られるまで学校で生徒たちをお預かりできるよう、食料等の備蓄も万全です。

クラブ活動



ダンス部



テニス部



バスケットボール部



ラクロス部



茶道部



音楽部



書道部



軽音楽部

文化部

- 演劇部
- 音楽部
- 華道部
- 茶道部
- フランス語部
- 軽音楽部
- イラスト部
- 美術部
- 写真部
- 書道部
- 英語部
- ホームサイエンス部
- 管弦楽部

運動部

- バレーボール部
- ダンス部
- 水泳部
- ラクロス部
- バスケットボール部
- テニス部
- バドミントン部

年間行事



ダンスコンクール



運動会



高校修学旅行(沖縄)



中学修学旅行(京都)



ニュージーランド中期留学



卒業式

4

April

- 入学式・始業式
- 対面式
- 生徒総会
- 遠足・校外教室

5

May

- マリア祭

6

June

- 運動会
- オープンスクール

7

July

- 静修日
- 球技大会
- 芸術鑑賞教室
- 国際理解教室

8

August

- 宗教合宿
- オーストラリア
2週間プログラム

9

September

- 始業式
- 学園祭

10

October

- 親睦の集い
- フランス交換留学
(コリブリ)

11

November

- 公開授業
- ダンスコンクール
- 留学生報告会

12

December

- 静修日
- 生徒会役員選挙
- クリスマスマサ

1

January

- 高校修学旅行
- ニュージーランド
中期留学

2

February

- 公開授業

3

March

- ボランティアセミナー
- 合唱発表会
- 送別会
- 卒業式
- 中学修学旅行

家庭のような温かさに包まれて

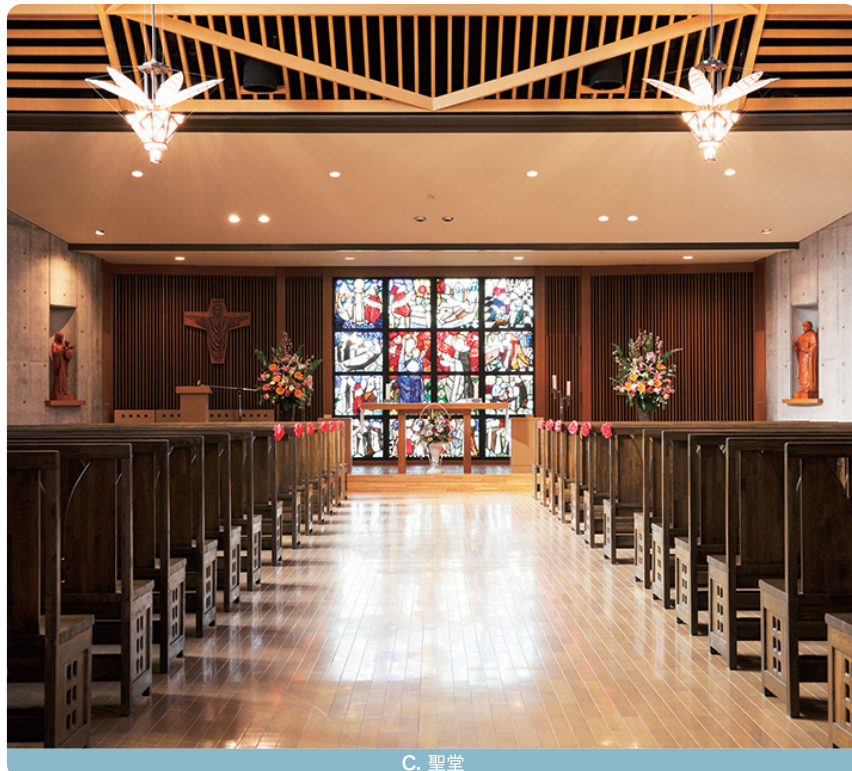
施設紹介



A. グラウンド/第二体育館



B. 第一体育館



C. 聖堂



D. 温水プール



E. 図書センター



F. 音楽室



G. ICC (International Communication Center)



H. 化学室

The truth will set you free (John 8:32)
 真理はあなたがたを自由にする。

(ヨハネによる福音書第8章32節)

聖ドミニコ学園中学高等学校は、2019年度より新教育に取り組んでいます。新教育で土台となるのは、Sustainability(持続可能性)・Design(デザインカ)・Connect(つながる)の3つの概念です。この世界を持続可能とするための問題意識を常に持ち、デザインカをもって新たな価値を創造し、世界とつながるためのコミュニケーションカ・語学力を身につけます。また、私たちの学園には、変わりゆく時代の中にあっても、決して変わらない真理があります。「真理」とは、キリストの教え、もしくはキリストそのものをさしており、それはすなわち、「愛」なのです。学園は、この真理のもとに誠を持って生きた聖ドミニコに倣って、信頼の中で自己への愛、他者への愛を紡いでいきます。温かな学園の中で、新時代を生き抜くスキルを身につけ、学園で培った愛と誠の精神を、それぞれが置かれた場所で広めることができる女性になって欲しいと願っています。